

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 桜の園					公表日	令和7年 3月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・支援員が安全に見守りでき、且つ子供たちが内容に応じた活動ができるよう、大小2つのスペースを確保しています。			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・利用人数に応じて、子供たち一人一人に十分な支援を行なうことができるよう、職員調整しています。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・子供たちが理解しやすいように動線に配慮し、また障がいの特性に応じ構造化した生活空間となるよう配慮しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日清掃やその日に使用した物の消毒を行い、清潔な環境を整えています。転倒による怪我がない様、保育室をカーペット敷にしており、季節に応じてエアコン、加湿器、空気清浄機等を設置しています。			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・体調不良時やバーニック等で気持ちを崩した際に過ごせるよう、個別に使用できる部屋を準備しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・職員が広く参画し、定期的または状況に合わせてミーティングを行い、必要に応じて業務改善を進めています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・評価表、日々の送迎時のやり取り、連絡帳を活用し、保護者の意向を把握したうえで職員間で協議し、業務改善に努めています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・定期的、または状況に応じてミーティングを行い、業務改善に努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・第三者による外部評価は受けていません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・機会は減っていましたが、徐々に研修会参加の機会を増やし、オンライン研修等へ積極的に参加しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・本人支援、家族支援、地域支援と地域連携等の支援プログラムを作成、ホームページで公表しています。			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・職員全員で個々の子どもに対してアセスメントを行い、課題を客観的に分析した上で、子どもや保護者のニーズを加味しながら個別支援計画を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・職員全員でケース会議に参加し、共通理解の元子どもの最善の利益を考慮し、検討しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・個々の目標を項目ごとに一覧表にして、子どもに関わる職員間で共有できるようにしている他、計画に沿って責任者が活動を設定し、職員全員で支援を行っています。			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・保護者に必要に応じて療育センター等で検査を行ってもらいその内容を共有してもらうほか、日々の行動観察等からアセスメントを行い、子どもの適応行動等を確認しています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	一人一人の子どもの状況に応じて、「児童発達支援の提供すべき支援」の各支援内容を踏まえて、必要な項目を具体的に設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・登園時の子どもの様子や体調を全員で共有し、それらに合わせて責任者が活動プログラムを立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・季節に合わせた活動、子どもの発達段階に合わせて様々な感覚統合遊びや微細運動遊び、専門的支援等、様々な活動を行うようにしています。			

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・個々の発達段階に合わせて、個別活動と小集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・利用人数に変更がある為、当日の朝にその日の支援内容と役割分担について確認し連携した支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・終業前のミーティングで、支援内容と支援中の子どもの様子について振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・業務日誌や専門的支援実施計画書に詳しく記録を取り、支援の検証・改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・6ヶ月に一度モニタリングを行ないニーズや課題を把握した上で見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・子どもや子どもの家庭環境等、状況をよく理解している職員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・必要時に連携して支援を行うことができるよう、各関係機関と体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・保護者の意向により、インクルージョン推進の観点からその支援を行っている。保育園等へ移行する際は、支援内容等を文書にしたり関係者会議に参加して情報共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・各市町村の教育委員会や必要に応じて保健師等を介する等して、園での様子をまとめた文書を提出したり、実際に面談等の機会を設けて情報共有と相互理解を図っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	・連携を図り、主催する研修等にも参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	0	・様々な感染症防止の為、交流は控えていますが、感染症対策を行いながら少人数での地域の子どもと交流する機会を設けています。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・毎日の様子を口頭や連絡帳にて保護者やご家族と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持てるよう努めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・ご家族から対応について相談を受けた際は、口頭や連絡帳を活用してペアレントトレーニング等の家族支援プログラムについて説明したり、研修等の情報提供を行っています。 ・具体的な家族支援プログラム名（ペアレントトレーニング等）の周知を、合わせて行っていきたいと思います。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・運営規程については契約時に確認していたのですが、問い合わせがあった際にもわかりやすく説明を行っています。支援プログラムについては、ホームページにて公表しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・児童発達支援計画を作成する際は、子どもや保護者の意思を確認し、優先考慮の観点を踏まえた上で、その意向を計画書に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・作成した計画書を保護者へお渡しする際は、内容について同意を得た上で署名をいただいています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・家族や保護者から子育ての悩み等に対する相談があった場合は、直ちに面談や電話、連絡帳へ返信する等、相談に応じて必要な助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・感染症対策の観点から保護者会等の開催はしていませんが、保育参観を通して保護者やご家族同士が交流できる機会を設けたり、運動会や夏祭り会がきょうだい同士で交流する場となっています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談や申し入れに対しては、責任者が迅速かつ適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・定期的に会報（さくらんぼ便り）を発行している他、連絡帳で日々の活動の概要や行事予定等の情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・契約時、個人情報の取り扱いについて説明し、確認をしています。また、部外への個人情報の持ち出しについても、禁止しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・子どもの意思疎通を図る際や情報伝達時には口頭の他、必要に応じて視覚的な方法を用いる等しています。保護者に対しては、口頭の他、文書を作成する等配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・感染症対策の観点から以前行われていた地域住民を招待して行う運動会等の行事を控えています。開催に関しては、感染症の流行状況を踏まえ実施について検討します。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・各マニュアルを策定しており、職員に周知して定期的に訓練を行っています。ご家族には感染対応マニュアルを見直し時期に合わせて文書にて周知しています。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・業務継続計画を策定しており、定期的に必要な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・契約時に定期薬や予防接種について確認をしています。てんかん発作のあるこどもに関しては「痙攣時対応依頼書」を保護者に記入していただき、発作時の対応について確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・契約時にアレルギーの有無について確認し、アレルギーがある場合は嘱託医の指示の元、食事提供ができない旨の文書をお渡しし、合わせて口頭でもお伝えしてご理解の元、利用を開始していただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を作成しており、必要な措置を講じながら安全管理された中での支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・子どもの発達状況や身体の状況に合わせて、必要な取り組み内容についてご家族に周知し、連携を図っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット事案発生時に全員で内容を確認し、改善点について話し合い再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・事業所ごとに全員で研修に参加しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	4		・身体拘束が必要なこどもの利用がありませんが、やむを得ず身体拘束が必要なこどもが利用を希望した場合は、どのように対応すべきか協議し、体制を整えて個別支援計画書に記載します。